

## 期末テスト、そして冬休み(1月レポート)

山本 裕之

こちらでの学習は二期制です。9月から始まった前期も1月10日11日の二日間、3教科の期末テストで終了です。その後13日から春節明けの2月17日まで約一か月が冬休みとなります。

期末テストについては、七割方できたという感じでしょうか。12月の最終週からテスト準備期間に入り、ほぼ自室学習で準備期間は十分にあったのですが、復習してまとめるだけで時間を費やし、自分のものにして臨むことができなかった事が悔やまれます。また作文など考えを中国語でアウトプットする事はまだまだできません。前期では残念ながら中国語のレベルがあまり伸びたように感じませんが、前期で習得したことが後期に生きてくると信じて引き続き後期を頑張りたいと思います。

さて、冬休みをどう過ごすか。寮に残って中国語の勉強、そして中国国内を旅行とも考えましたが、旅行に関しては学校への届け出が必要で、移動手段、宿泊場所まで旅程を申請しなければいけません。留学の居留許可は勉強するためのもので、無断で外泊しないこと、成績が悪いと中国にいる事はできませんなど節目節目で通達がでます。当然と言えば当然ですが、この辺りは中国の厳しさを感じます。日本への帰省であれば届け出は行きかえりの移動手段だけで済むし、退職後の確定申告などもしたかったので、冬休みの過ごし方は日本への一時帰省としました。

日本で中国気分を味わう方法。幸い住んでいるところが川口市なので周りには、多くの中国の方が生活をしています。久しぶりに日本語ボランティア教室に行くと、日本の大学院を目指す留学生が三人も来ており、日本の大学院に行ってから日本で就職を目指していると言っていました。半年前よりも中国の方が増えたような気さえします。実際、川口市の人口統計を見ると半年で外国人の増加が約2,100人、世帯数で1,300世帯増となっていました。中華食材の店も増えたようです。

驚いたことは、中国で利用していたケータイアアプリが日本でそのまま利用できることです。中国でよく利用されている「大众点评」(批評サイト)では川口

や埼玉のおいしい店やショッピングサイト、観光地まで中国人コミュニティー内だけで、もちろん中国語で情報が成立しています。中国で聞いていた太原のローカルラジオもそのままケータイアプリで聞くことができますし、テレビもCCTV(中国中央電視台)などインターネット経由でリアルタイムに見ることができます。中国の方々は日本語を利用しなくても中国で利用していた環境をそのまま持ち込んで日本で十分に生活ができると実感できたことでした。

口語の先生が、春節を味わうにはテレビを見た方がいいと言っていました。中国人は春節を家族と過ごすので、中国人の家族と過ごすことができれば一番いいが、学校の寮にいとあまり春節を感じられないかもしれないので、できるだけテレビを見た方がいいとの話でした。

ということで中国のテレビを積極的に見ると、年味(年の瀬の雰囲気)、春运(年末年始の特別交通体制)、天気など、十分に中国を感じることができます。日本に帰省すると春節を感じられないのではと思っていましたが、中国各地の年末の様子がよくわかります。

2月9日の除夕(旧暦の大晦日)には春節晚会(中国の紅白歌合戦)を日本で見て、春節(春節、旧暦の2024年の始まり)を迎えたいと思います。

~~ 写真 ~~

1月1日 元旦に食べに行った「元宵団子」



元旦にも「元宵団子」を食べるとネットで見たのだが、実際は、春節の15日後の満月の日「元宵节」に食べるらしい。太原の鐘樓街にある有名な店で美味しかった。

西暦の1月1日は本当にあっけなく一日だけの休み。

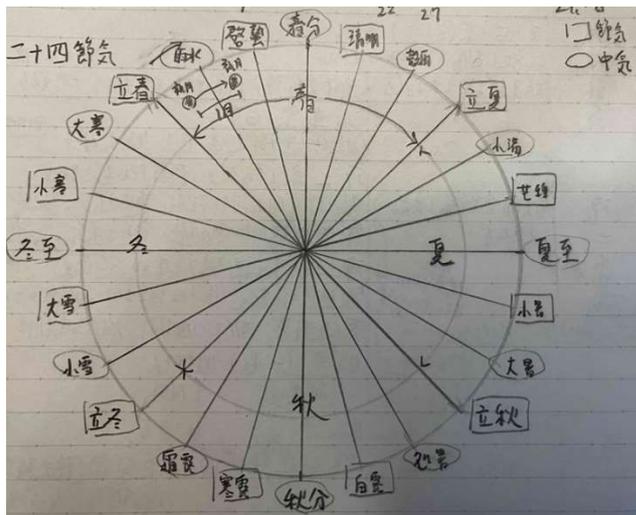
クラスメートの子はカウントダウンの花火に行ったのか動画を送ってくれたが、寮で遠くの花火の音を聞きながら静かな西暦の年越しとなった。

夜中の北京空港 冬休みを日本に帰省



太原から日本への乗り継ぎのため、北京空港で一夜を明かす。  
大都市北京だが日本と同様に国際的なハブ空港になっていないからなのか、夜は店も閉まり人影もまばら。寒かった。

中国にいと節句と二十四節気が生活に密着していることを感じます。あまりよくわかっていなかったなので、日本にいる間に調べてみました。地球が太陽を一周する太陽暦の二十四節気と月が地球を一周する太陰暦をあわせた、太陽太陰暦というらしいが旧暦の仕組みを初めて知りました。日本も江戸時代は太陽太陰暦を採用していたが、明治6年に太陽暦（グレゴリオ暦）へ改暦。決断が遅い日本だが、明治での鮮やかな欧米追従はあっぱれと言うべきか。しかし、日本の節句も中国由来が多いので、知れば知るほど中国への親近感を感じます。



日	二十四節気 (新暦)	中国の節日 (旧暦)	中国の休日・祝日	2024年の場合
1日	小寒 (1/5頃) 大雪 (1/1頃)		元旦 1/1	
2日	立春 (1/6頃) 雨水 (1/20頃) 惊蛰 (1/20頃)	立春 (1/6頃) 雨水 (1/20頃) 元月節 (1/15)	春節 元月節 (1/15)	春節休 2024 1/20(水)~1/27(火) 1/28(水)~1/29(木)
3日	春分 (1/20頃)	春分 (1/20頃)	元月節 (1/15)	
4日	清明 (1/20頃) 穀雨 (1/20頃)	清明 (1/20頃)	清明節 → 清明節	4/4(土)~4/6(日) 2024
5日	立夏 (1/20頃) 小満 (1/20頃)	立夏 (1/20頃) 小満 (1/20頃)	労働節 5/1 労働節 (1/1)~1/2(火) 労働節 (1/1)~1/2(火)	5/1(木)~5/3(土) 2024
6日	芒種 (1/20頃) 夏至 (1/20頃)	芒種 (1/20頃) 夏至 (1/20頃)	端午節 (1/5) 端午節	6/8(土)~4(日) 2024
7日	小暑 (1/20頃) 大暑 (1/20頃)	小暑 (1/20頃) 大暑 (1/20頃)		
8日	立秋 (1/20頃) 処暑 (1/20頃)	七夕節 (7/7) 七夕節 (7/7)	七夕節 (7/7) 七夕節 (7/7)	七夕節 (7/7) 七夕節 (7/7)
9日	白露 (1/20頃) 秋分 (1/20頃)	白露 (1/20頃) 秋分 (1/20頃)	中秋節 (9/15) 中秋節	9/15(土)~9/17(日) 2024
10日	寒露 (1/20頃) 霜降 (1/20頃)	寒露 (1/20頃) 霜降 (1/20頃)	太陽節 (10/1) 國慶節 (10/1)	10/1(土)~10/7(木) 2024
11日	立冬 (1/20頃) 小雪 (1/20頃)	立冬 (1/20頃) 小雪 (1/20頃)		
12日	大雪 (1/20頃) 冬至 (1/20頃)	大雪 (1/20頃) 冬至 (1/20頃)		

地球が太陽を回る一周を 24 等分

以上